

◎ 学年部会の代表授業者が作成する教研レポートの書き方について

※フォントや行数などの書式全般については、教研の運営委員会から出されたもの準ずる。

平成 29 年度 岡崎市教育研究大会レポート

岡崎市立〇〇〇学校 〇〇 〇〇

1 研究テーマ

豊かな心をもち 他者と共によりよく生きる力を育てる道德教育
ー考え議論する道德の授業を目指してー

2 研究概要

(1) はじめに (主題設定の理由)

現代の社会的背景、学級の実態を書き、本研究でどのような子供に育てたいか教師の願いを書く。

(2) 研究の視点

①自分の問題として自己の生き方にかかわる主体的な価値の自覚を図る工夫

・より資料の内容をとらえやすくするために、ペーブサートで提示する。

重点としたことを書く。

②〇〇〇〇～。

・〇〇〇～。

重点内容に迫るための手立てを書く。

3 授業の実践

(1) 導 入

(2) 展 開 ※発問ごとに書いてもよい。

(3) 終 末

4 成果と課題

(1) 成 果

①自分の問題として自己の生き方にかかわる主体的な価値の自覚を図る工夫

②〇〇〇〇〇〇～。

(2) 課 題

実際の授業の様子を書きながら、手立てがどのように有効だったかなどを書く。

◎指導案（略案）の形式例 ※各学校の形式でもよい。

第○学年○組 道徳の時間学習指導案

場所 ○年○組教室

指導者 ○○ ○○

- 1 主題名 だれにでもやさしく B一（10） 相互理解、寛容
 教材名 「はしのうえのおおかみ」 出典 文溪堂

- 2 本時の目標
 (1) ○○○○という気持ちを育てる。
 (2) ○○○○する態度を育てる。

道徳科を見据え、指導要領改定後の項目で記入する。ネットで検索確認できます。

3 展 開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (○分)	1 ○○○○について発表する。 ・○○○だな。 ・○○○だと思う。	・○○○○○○○をする。
課題 (○分)	2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">どうして、○○○○は○○○○できることになったのだろうか。</div>	
展開 (○分)	3 資料の判読を聞く。	・補助発問○○○○○をする。 ・○○○○○に意図的指名する。
終末 (○分)	4 ○○○○～。	・○○○○○をする。

4 評 価

- (1) ○○○○○○ことができたか。(活動5の○○○より)
 (2) ○○○○○○できたか。(活動4の○○○より)

◎巻末に、本時で扱った道徳の読み物資料のコピーも一緒に綴じる。